

AAE アクティブメンバーとは何か

— 歯内療法における専門性と責任の証 —

AAE アクティブメンバーとは、単なる所属会員ではなく、
歯内療法を科学的・生物学的根拠に基づいて実践し続ける専門家であることを示す立場です。
それは肩書きではなく、**臨床姿勢と継続的研鑽へのコミットメント**を意味します。

1. AAE アクティブメンバーに求められる専門的姿勢

AAE アクティブメンバーは、以下を前提として診療にあたります。

- AAE ガイドライン・コンセンサスレポートの尊重
- 症状依存ではなく生物学的診断に基づく判断
- 科学的根拠（EBM）と解剖学的理解に基づく治療選択

すなわち、
「流行の手技」や「器具中心の歯内療法」から距離を置き、
原理原則に立ち返った診療を行う専門家であることが求められます。

2. 生物学的歯内療法（Biology-driven Endodontics）の実践者

AAE は歯内療法を、歯髄および根尖周囲組織の感染性疾患を対象とする生物学的医療分野として位置づけています。

アクティブメンバーは、

- 正確な歯髄診断・根尖診断
- 根管内感染の制御
- 歯質保存を重視した形成
- 治癒を見据えた封鎖

を治療の軸とし、「痛みを取る処置」ではなく「治癒を導く医療」を実践します。

3. Instrumentation・Irrigation・Obturation の三位一体的理解

AAE アクティブメンバーの歯内療法は、Instrumentation（形成）・Irrigation（洗浄）・Obturation（封鎖）を独立した手技ではなく、連続した一つの生物学的プロセスとして捉えます。

- 形成は洗浄のための環境整備
- 洗浄は感染制御の中核
- 封鎖は再感染を防ぐための最終工程

いずれか一つを強調するのではなく、
三者の調和こそが成功の条件であるという認識が、AAE 的歯内療法の本質です。

4. 継続的教育と学術的責任

AAE アクティブメンバーであることは、

- 継続教育への積極的参加

- 新しい研究成果の批判的吟味
- 学術的議論への参加

を通じて、歯内療法の質を自ら更新し続ける責任を伴います。

これは、「新しい＝正しい」ではなく、

「生物学的に妥当か」「長期予後に寄与するか」を問い続ける姿勢でもあります。

5. 患者中心型医療と倫理的責任

AAE アクティブメンバーは、高度な技術だけでなく説明責任と倫理性を重視します。

- 診断根拠をわかりやすく説明する
- 不必要な治療を行わない
- 歯を残すための最善策を患者と共有する

これらはすべて、患者の長期的利益を最優先する歯内療法という AAE の理念に基づいています。

AAE アクティブメンバーであることは、

- 科学と生物学に根ざした診断
- 三位一体の歯内療法の実践
- 継続的学習と倫理的医療

を通じて、**歯を守り、治療を導く専門家であり続ける**という意思表示です。

それは称号ではなく、**日々の診療における判断基準そのもの**と言えるでしょう。